

日本の コンピュータ史

情報処理学会歴史特別委員会 編
A5判・388頁 定価8,208円(本体7,600円+税)

The History of Japanese Computers

1980年から2000年の20年間の日本のコンピュータの歴史を情報処理学会歴史特別委員会で検証してまとめたものです。この時代は、パソコンとインターネットの時代へとITが大きく変貌と遂げた激変の時代であり、その最前線で関わった人たちによって執筆されています。

1960年以前の歴史をまとめた「日本のコンピュータの歴史」と1960年から1980年をまとめた「日本のコンピュータ発達史」をCD-ROMに収録して添付しています。



【編集委員会】

- 委員長：笈田 弘(前沖電気工業株式会社)
- 幹事：松永俊雄(東京工科大学名誉教授)
- 委員：旭 寛治(前株式会社日立製作所)／鶴飼直哉(前富士通株式会社)／浦城恒雄(東京工科大学名誉教授)／坂井修一(東京大学)／前島正裕(国立科学博物館)／山田昭彦(コンピュータシステム&メディア研究所)／和田英一(東京大学名誉教授)

【目次】

- 第1章 日本のコンピュータ史概論(1980年まで)
 - 第2章 日本のコンピュータ史概論(1980年から2000年まで)
 - 第3章 日本のコンピュータの発展 汎用大型コンピュータ(メインフレーム)／オフィスコンピュータ／パーソナルコンピュータ／スーパーコンピュータ／ワークステーション・サーバ／日本語ワードプロセッサ(ワードプロセッサ)／周辺機器／専用端末装置システム／ソフトウェア／文字コード／大学など研究機関での活動
 - 第4章 ネットワーク社会への展開 ネットワーク環境の変遷／OSIの始まりと終焉／インターネット／モバイルコミュニケーション／電子商取引
 - 第5章 情報技術分野の主要な研究開発プロジェクト 概要／第五世代コンピュータ／科学技術用高速計算システム／リアルワールド・コンピューティング／TRONプロジェクト／DIPS
 - 第6章 その後の進展と今後の展望
- 年表・年譜

「日本のコンピュータ史」購入申込書

送付先 ■ 〒101-0062 千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F 一般社団法人 情報処理学会出版担当
Tel: (03)3518-8371 (部門直通) Fax: (03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp

会員価格 ■ (送料・税込み) **7,387 円** *学会間の相互協力により、情報処理学会、電気学会、照明学会、電子情報通信学会、映像情報メディア学会の5学会の個人・法人会員の方は、会員価格で購入できます。

記入欄

◎所属学会

学会名： _____ 会員 No.： _____

◎購入申込冊数

購入申込冊数 _____ 冊 合計金額 _____ 円

◎お支払い方法 下記の該当お支払い方法にチェック☑し、見積・納品・請求書の希望枚数をご記入ください。

○お支払い方法： 銀行 郵便振替 現金持参

○見積・納品・請求書(3枚綴り)： _____ 通 希望 請求書宛先： _____

◎送付先(※は必須事項)

ご氏名*：(漢字) _____ (カナ) _____

送付区分*： 自宅 勤務先

ご住所*： 〒 _____

会社/学校名： _____ 所属： _____

Tel*： _____ Fax： _____

E-mail*： _____

●通信欄 (要望事項等あればご記入ください)

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、3月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「弁護士から見た情報処理」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

- 私的利用と私的使用を厳密に使い分けてほしい。
(匿名希望)
- 業務に関連することで非常に役に立った。
(匿名希望)
- 現在さまざまなところに法律問題があるが、どのような場合に問題となるかまで深く考えずに行動していることも少なくない。今回の特集を通じていろいろな注意すべき点を理解することができてよかった。
(匿名希望)
- とても示唆に富む内容でした。
(千葉一博)
- 今回は非常に良いテーマでした。技術や研究そのものの話ではありませんが読者の多くが知るべき内容だったと思います。
(匿名希望)
- 法律の問題は専門家や非専門家を問わず何かしら関係があり、非専門家の人に分かるような説明で分かりやすい特集だった。特に記事中で事例も挙げているのが良かった。
(匿名希望)
- 過去の生々しい事例をもとに、さまざまなケースに注意が必要なことを改めて認識するとともに、新たな発見（特に瑕疵）を気づかせてくれ、非常に読み応えがあった。
(匿名希望)
- 実際の判例を挙げながらの解説であったので参考になりました。
(匿名希望)

■全体を通して読むには、少しハードな特集ですが、いろいろな場面で参考になりそうな情報が網羅されており、後で、必要になったときに活用できる内容だと思いました。
(匿名希望)

■専門家である弁護士らから述べられる法律に関する話は非常に参考になった。学生から社会人になり、会社でエンジニアとして働くようになってから、より強く意識したことがまさに今号の特集である法律に関することだった。
(佐伯嘉康)

■法律問題の記事は知っている話も多かったですが網羅的によくまとめられていると思いました。どれも自分に直接かかわる話なので参考になります。今回は現状の法律解釈の話が中心でしたが、法改正も含めた「どうあるべきか」という議論もいずれ取り上げていただきたいです。
(匿名希望)

■著作権などの知的財産権のことを知りたいと思いつつも、なかなかその方面の知識を得るのに手が出しづらかったのですが、今回の特集は研究者や技術者が関係するさまざまな場面に対する専門家の方々の説明があつてとても参考になりました。
(匿名希望)

■最近、ソフトウェアを含む特許申請の機会がありソフトウェアをめぐる知的財産、著作権の問題、大学での研究成果と、技術移転をめぐる法的問題についてかわり、いろいろ疑問を持ったり、考えさせられたりすることが多かったため、今回の特集はとても参考になりました。
(石井一夫)

■知的財産権など情報処理に関する法律について、例を示しながら明確に整然と記述されていたので、今まで判断に苦しんでいたような場面でも、これを知っておけば判断が容易になるような気がした。
(匿名希望)

シニアコラム「IT好き放題：国際標準化の壁」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■国際標準化については、最近、「オープン・クロー

ズ戦略」や特許の問題と絡んで、何を、どのような形で標準化していくかが話題になっていると思います。その国際標準化の問題を、事例を通じて伝えているこの記事は、意義深いと思います。記事にあるように「国際標準化の壁を打ち破る戦略や戦術」が必要だと感じます。(匿名希望)

報告「学生スマートフォンアプリコンテスト」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■刺激された。(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■第5世代(5G)携帯電話等について、技術的な面だけではなく、特許や各国の戦略などについて取り上げてほしい。(匿名希望)

■研究会報告などをもう少し取り上げてほしい。(平井辰典)

■海外の大学の研究・教育事情。(匿名希望)

■OS, オフィスソフト, 言語, SNS システム等, 色々な機能別に、話題になっているOSSの紹介をしてください。(匿名希望)



【本欄担当 目黒豊美, 古宮嘉那子/会員サービス分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」< URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html> > にも掲載しています。Web 版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらをご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想, 意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見, 提言
- ・その他, 情報処理技術についての全般的な意見, 提言

など自由なご意見, ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については
<URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>> で
これからのテーマ案を募集しており, いただいたご意見をまとめております。
※ ご意見, ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては, 編集の都合上, ご意見に手を加えさせていただくことがありますので, あらかじめご了承ください。なお, 意見の投稿に伴う, 住所, 氏名, 所属などの個人情報については, 学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。
<URL : <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部門
E-mail : editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!



IPJS カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「仮想化時代の情報セキュリティと運用技術」 特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-N.html	6月16日(月)		
	論文誌「インタラクシヨンの理解および基盤・応用技術」 特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-J.html	6月20日(金)		
	論文誌「学生・若手研究者論文」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-P.html	6月30日(月)		
	論文誌「娯楽の離散数理」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-L.html	7月31日(木)		
	論文誌「新しい社会を創る情報システム」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-M.html	8月11日(月)		
	論文誌「Applications and the Internet in Conjunction with Main Topics of COMPSAC 2014」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-R.html	9月5日(金)		
5月14日(水)～ 5月15日(木)	第7回デジタルコンテンツクリエイション・ 第64回電子化知的財産・社会基盤合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dcc7eip64.html	3月25日(火)	当日のみ	情報セキュリティ 大学院大学
5月14日(水)～ 5月15日(木)	第202回計算機アーキテクチャ・第129回システムソフトウェアと オペレーティング・システム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc202os129.html	4月8日(火)	当日のみ	沖縄船員会館
5月15日(木)～ 5月16日(金)	第159回マルチメディア通信と分散処理・ 第71回モバイルコンピューティングとユビキタス 通信合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps159mbl71.html	3月19日(水)	当日のみ	健康文化村 カルチャーリゾート フェストーネ
5月15日(木)～ 5月16日(金)	第192回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim192.html	3月20日(木)	当日のみ	近畿大学
5月15日(木)～ 5月16日(金)	第92回グループウェアとネットワークサービス・ 第9回セキュリティ心理学とトラスト合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gn92spt9.html	3月24日(月)	当日のみ	早稲田大学 西早稲田キャンパス
5月16日(金)	中国支部報告会 http://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2014.html			未定
5月16日(金)～ 5月17日(土)	第13回教育学習支援情報システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cle13.html	3月28日(金)	当日のみ	京都大学術情報 メディアセンター
5月19日(月)	東海支部報告会 http://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2014.html			ルブラ王山
5月19日(月)	東海支部主催講演会「シリコンバレー最新ITトレンド ～Hitachi Solutions Americaの活動内容ご紹介～」 http://www.ipsj-tokai.jp/			ホテルルブラ王山 (名古屋)
5月19日(月)～ 5月20日(火)	第184回ソフトウェア工学・ 第33回組込みシステム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se184emb33.html	4月3日(木)	当日のみ	日立製作所
5月22日(木)～ 5月23日(金)	第65回コンピュータセキュリティ・ 第25回インターネットと運用技術合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec65iot25.html	3月20日(木)	当日のみ	ホルトホール大分
5月22日(木)～ 5月23日(金)	第10回コンシューマ・デバイス&システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cds10.html	3月24日(月)	当日のみ	北海道大学
5月22日(木)～ 5月23日(金)	第216回自然言語処理・第101回音声言語情報処理合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl216slp101.html	3月24日(月)	当日のみ	東京工業大学 大岡山キャンパス
5月22日(木)～ 5月23日(金)	第158回ヒューマンコンピュータインタラクシヨン研究会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci158.html	4月4日(金)	当日のみ	津田塾大学 小平キャンパス
5月24日(土)～ 5月25日(日)	第103回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus103.html	3月12日(水)	当日のみ	日本大学 百周年記念館
5月26日(月)～ 5月27日(火)	第144回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc144.html	3月24日(月)	当日のみ	海洋研究開発機構 横浜研究所
5月29日(木)	第166回システムとLSIの設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm166.html	3月14日(金)	当日のみ	北九州国際会議場
5月29日(木)～ 5月30日(金)	第42回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ubi42.html	4月14日(月)	当日のみ	富山国際会議場
5月30日(金)	北陸支部報告会 http://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2014.html			金沢市内
5月31日(土)	第102回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch102.html	3月31日(月)	当日のみ	桜美林大学 町田キャンパス
6月4日(水)	2014年度定時総会 http://www.ipsj.or.jp/topics/soukai20140604.html			東京理科大学 神楽坂キャンパス
6月6日(金)	四国支部報告会 http://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2014.html		6月6日(金)	香川大学
6月6日(金)	第128回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is128.html	4月18日(金)	当日のみ	東海大学 高輪キャンパス
6月6日(金)～ 6月7日(土)	第32回エンタテインメントコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ec32.html	4月16日(水)	当日のみ	北海道大学大学院
6月7日(土)	第125回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce125.html	4月17日(木)	当日のみ	函館(予定)
6月9日(月)	連続セミナー 2014 第1回「予測と意思決定のためのアナリティクス技術」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2014/index.html		定員になり次第	化学会館 大阪大学中之島センター
6月11日(水)	東北支部報告会 http://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2014.html			東北大学

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
6月13日(金)～	第148回アルゴリズム研究発表会	4月14日(月)	当日のみ	道後温泉大和屋
6月14日(土)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/all148.html			
6月19日(木)～	第99回プログラミング研究発表会	4月18日(金)	当日のみ	旭川市民文化会館
6月20日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro99.html			
6月20日(金)	第57回高度交通システムとスマートコミュニティ研究発表会	5月14日(水)	当日のみ	グランフロント大阪
6月25日(水)～	第98回数理モデル化と問題解決・	4月30日(水)	当日のみ	沖縄科学技術
6月27日(金)	第38回バイオ情報学合同研究発表会			大学院大学
	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps98bio38.html			
6月28日(土)	第155回グラフィクスとCAD研究発表会	4月25日(金)	当日のみ	NTT横須賀研究開発
	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg155.html			センター
6月28日(土)	第26回インターネットと運用技術研究発表会	5月13日(火)	当日のみ	新潟大学
	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iot26.html			
7月3日(木)～	第66回コンピュータセキュリティ・	5月8日(木)	当日のみ	サン・リフレ函館
7月4日(金)	第10回セキュリティ心理学とトラスト合同研究発表会			
	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec66spt10.html			
7月5日(土)	第32回ゲーム情報学研究発表会	5月7日(水)	当日のみ	香川大学
	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gi32.html			
7月9日(水)～	マルチメディア、分散、協調とモバイル (DICOMO2014)	3月3日(月)		ホテル泉慶
7月11日(金)	シンポジウム			(新潟県新発田市)
	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dicomo2014.html			
7月9日(水)～	第185回ソフトウェア工学研究発表会	4月25日(金)	当日のみ	富良野文化会館
7月11日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se185.html			
7月15日(火)	連続セミナー2014 第2回「ウェアラブルが切り開くIT新潮流」		定員になり次第	化学会館
	http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2014/index.html			大阪大学中之島センター
7月21日(月)	第99回数理モデル化と問題解決研究発表会	4月19日(土)	当日のみ	Monte Carlo Resort
	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps99.html			(ラスベガス)
7月24日(木)～	第102回音声言語情報処理研究発表会	5月8日(木)	当日のみ	ホテル花巻
7月26日(土)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/slp102.html			(岩手県花巻市)
8月21日(木)～	平成26年度電気関係学会東北支部連合大会開催案内および講演募集	6月15日(日)		山形大学工学部
8月22日(金)	http://www.topic.ad.jp/ipsj-tohoku/doku.php?id=announce:convention_20140821			
8月28日(木)～	DAシンポジウム2014—システム設計技術とLSI設計技術—	5月23日(金)		下呂温泉 水明館
8月29日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/s-da2014.html			
9月1日(月)～	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2014	5月2日(金)		芝浦工業大学
9月3日(水)	http://ses.sigse.jp/2014/			芝浦キャンパス
9月3日(水)～	FIT2014 第13回情報科学技術フォーラム	4月16日(水): 査読付き		筑波大学
9月5日(金)	http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2014/index.html	5月22日(木): 一般		筑波キャンパス
9月4日(木)～	第11回ネットワーク生態学シンポジウム	8月1日(金)	定員になり次第	湘南国際村センター
9月5日(金)	http://www.neteco.jp/symposium/201409/			
9月8日(月)～	平成26年度電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会	6月26日(木)		中京大学
9月9日(火)	開催案内および講演募集			名古屋キャンパス
	http://www.ipsj-tokai.jp/rengo2014/			
9月17日(水)	2014年度関西支部支部大会開催案内および論文募集	6月20日(金)		大阪大学
	http://kansai.ipsj.or.jp/sibutaikai_2014/index.html			中之島センター
9月18日(木)～	平成26年度(第67回)電気・情報関係学会九州支部連合大会	7月15日(火)		鹿児島大学
9月19日(金)	開催案内および講演募集			郡元キャンパス
	http://www.jceee-kyushu.jp/			
9月25日(木)	連続セミナー2014 第3回「DevOps等のソフトウェア開発新潮流(仮)」		定員になり次第	化学会館
	http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2014/index.html			大阪大学中之島センター
10月17日(金)	連続セミナー2014 第4回「モバイル・クラウド時代を加速するIOT(Internet of Things)」		定員になり 次第	化学会館
	http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2014/index.html			大阪大学中之島センター
11月11日(火)	連続セミナー2014 第5回「モバイル・クラウド時代のデータプライバシー」		定員になり次第	化学会館
	http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2014/index.html			大阪大学中之島センター

2015年

3月17日(火)～	情報処理学会 第77回全国大会			京都大学
3月19日(木)	http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/77/index.html			吉田キャンパス

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 4月16日 「放送・通信分野等における公的個人認証サービスの利活用」に関する実証に対する意見
- 4月16日 「スマートプラチナ社会の構築」に関する実証に対する意見
- 4月16日 「ビッグデータの活用による路面管理の高度化」に関する実証に対する意見
- 4月16日 「ビッグデータの活用による農業の高度化」に関する実証に対する意見
- 4月15日 人材募集情報 (Vol.55 No.5)
- 4月15日 会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.55 No.5)
- 4月9日 「革新的研究開発推進プログラム (ImPACT)」に対する意見
- 4月8日 論文誌「学生・若手研究者論文」特集 論文募集
- 4月7日 論文誌「Applications and the Internet in Conjunction with Main Topics of COMPSAC 2014」特集 論文募集
- 4月2日 論文誌「インタラクションの理解および基盤・応用技術」特集 論文募集
- 4月2日 ご寄付のお願い
- 4月1日 代表会員名簿 (2014 年度)

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書に記載する「宛名」、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へ、E-mail、Fax または郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 税抜 20,000 円 (税込 21,600 円)

賛助会員（企業） 税抜 30,000 円 (税込 32,400 円)

賛助会員以外の企業 税抜 50,000 円 (税込 54,000 円)

*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金 税抜 4,000 円 (税込 4,320 円) で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部 (有料会告係) E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■大阪工業大学情報科学部コンピュータ科学科

募集人員 准教授または特任准教授 1名 (注: 特任の場合は、最長5年の有期雇用、待遇は本学規定による)
 専門分野 基盤ソフトウェア
 担当科目 「システムプログラム」「オートマトンと形式言語」「アセンブリ言語」「組込みシステム」「コンピュータ科学基礎演習」「卒業研究」「情報ゼミナール」「(院) 計算機構成論」等
 応募資格 博士の学位を有する方。大学院教育では、博士前期課程の授業と研究指導ができること。コンパイラまたはオペレーティングシステムなどの基盤ソフトウェアに関して第一線での開発経験があり、単独でのこれらソフトウェアの教育および開発指導ができること
 着任時期 2015年4月1日
 応募締切 2014年6月9日 (必着)
 照会先 情報科学部事務室 E-mail: jyo-jimu@ofc.oit.ac.jp Tel(072)866-5301
 その他 詳細は大学Webページ (<http://www.oit.ac.jp/>) を参照ください

■大阪工業大学情報科学部コンピュータ科学科

募集人員 講師または特任講師 1名 (注: 特任の場合は、最長5年の有期雇用、待遇は本学規定による)
 専門分野 基盤ソフトウェア
 担当科目 「プログラミング入門」「プログラミング基礎」「組込みシステム基礎」「C演習」「Java演習」「卒業研究」「情報ゼミナール」「(院) システムコデザイン」等
 応募資格 博士の学位を有する方。大学院教育では、博士前期課程の授業と研究指導ができること。コンパイラまたはオペレーティングシステムなどの基盤ソフトウェアに関して第一線での開発経験があり、単独でのこれらソフトウェアの教育および開発指導ができること
 着任時期 2015年4月1日
 応募締切 2014年6月9日 (必着)
 照会先 情報科学部事務室 E-mail: jyo-jimu@ofc.oit.ac.jp Tel(072)866-5301
 その他 詳細は大学Webページ (<http://www.oit.ac.jp/>) を参照ください

■大阪工業大学情報科学部情報システム学科

募集人員 講師 (または特任講師) もしくは准教授 (または特任准教授) 1名 (注: 特任の場合は、最長5年の有期雇用、待遇は本学規定による)
 専門分野 ソフトウェア工学
 担当科目 ソフトウェア工学分野のみならず、隣接分野の授業演習に加え、卒業研究を担当いただく。また、基礎ゼミナール等の導入教育に加え、キャリア教育科目等も担当いただくことがある
 応募資格 博士の学位を有する方。大学院教育では、博士前期課程の授業と研究指導ができること。自らのソフトウェア開発経験に加え、PBLによるソフトウェア開発教育の経験を有する方が望ましい
 着任時期 2015年4月1日
 応募締切 2014年6月9日 (必着)
 照会先 情報科学部事務室 E-mail: jyo-jimu@ofc.oit.ac.jp Tel(072)866-5301
 その他 詳細は大学Webページ (<http://www.oit.ac.jp/>) を参照ください

■大阪工業大学情報科学部情報ネットワーク学科

募集人員	講師または特任講師 1名(注:特任の場合は、最長5年の有期雇用、待遇は本学規定による)
専門分野	情報ネットワークアプリケーション
担当科目	「エレクトロニクス基礎」「情報ネットワーク基礎演習」「情報ネットワーク専門演習」「C演習」「テクニカルライティング」「ネットワークアプリケーション」「卒業研究」「情報ゼミナール」「(院)ネットワーク構成論」等
応募資格	博士の学位を有する方。大学院教育では、博士前期課程の授業と研究指導ができること。ネットワークアプリケーションの研究開発経験があり情報ネットワーク分野の研究および研究指導ができること。当該分野の教育経験を有する方が望ましい
着任時期	2015年4月1日
応募締切	2014年6月9日(必着)
照会先	情報科学部事務室 E-mail: jyo-jimu@ofc.oit.ac.jp Tel(072)866-5301
その他	詳細は大学Webページ (http://www.oit.ac.jp/)を参照ください

■東京農工大学大学院工学研究院

募集人員	助教 1名(任期:5年。審査の上、5年を上限に再任の可能性あり)
専門分野	コンピュータネットワーク
担当科目	大学院工学府情報工学専攻および工学部情報工学科における実験演習(プログラミング、ハードウェア、コンピュータネットワークなど)の担当および研究指導補助
応募資格	(1)専門分野における博士号を有するか、着任時までに博士の学位を取得見込みの方、(2)コンピュータネットワークにおいて研究実績を有し、コンピュータネットワーク分野の教授とともに、学生を指導しながら先進的・先導的研究を展開できる方、(3)ほかの教職員と協力して本専攻・学科の教育および管理運営に積極的に貢献いただける方
着任時期	2014年10月1日以降のできるだけ早い時期
提出書類	(1)履歴書および業績リスト、(2)主要論文別刷(5編以内、コピー可)、(3)これまでの研究成果の概要(A4用紙1~2枚)、(4)本学における研究計画の概要(A4用紙1~2枚)、(5)教育に関する抱負(A4用紙1枚以内)、(6)研究や人物に関して照会可能な方3名の氏名と連絡先 ※業績リストの形式は自由です。著書、論文、国際会議、口頭発表、受賞歴、競争的資金の獲得、学会活動、社会貢献活動、その他の特記事項などを分けて記載してください
応募締切	2014年6月12日(必着)
送付先/照会先	〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16 東京農工大学大学院工学研究院先端情報科学部門 山井成良 E-mail: nyamai@cc.tuat.ac.jp Tel(042)388-7695 「助教応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却しません
その他	応募書類は本選考のためだけに使用し、それ以外には使用しません 選考方法:書類審査の後、候補者若干名に対し面接を行います。面接のための旅費は応募者の負担とします。選考に関する連絡は、原則としてE-mailで行います 詳細については東京農工大学教職員公募ページ (http://www.tuat.ac.jp/outline/kyousyoku/index.html)をご覧ください

■津山工業高等専門学校情報工学科

募集人員	助教 1名
専門分野	情報工学および関連分野
担当科目	情報工学および関連分野の実験・実習・卒業研究および講義
応募資格	(1)女性に限る(男女雇用機会均等法第8条に該当、女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置)、(2)博士の学位を有する(見込みを含む)こと、(3)高校生年代から大学生年代までの広範囲な年齢層の学生を対象とする高等専門学校での教育・研究・学生指導(課外活動指導を含む)に熱意を持つ、心身ともに健康な方、(4)社会連携活動および技術指導等に意欲のある方、(5)国際交流活動に積極的に携わっていただける方
着任時期	2014年9月1日以降の早い時期
提出書類	(1)履歴書(市販用紙)、(2)研究業績リスト(研究論文、著書、口頭発表等分野ごとに分けて記載)、(3)主要論文・著書等の別刷(3編まで、コピー可)、(4)教育経験または実務経験のリスト、(5)高等専門学校における教育・研究・学生指導についての抱負を記したもの(1000字程度)、(6)学会活動歴、科学研究費補助金等の外部資金の受入、受賞経験を有する方はそのリスト、(7)推薦書(別封、親展) ※(3)以外は、A4用紙に統一すること
応募締切	2014年6月20日(必着)
送付先	〒708-8509 岡山県津山市沼624-1 津山工業高等専門学校 総務課 課長補佐 原田大作 「情報工学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は原則として返却しません。返却が必要であれば申し出てください
照会先	情報工学科長 大平栄二(教授) E-mail: ohira@tsuyama-ct.ac.jp Tel(0868)24-8282(直通)
その他	選考方法:1次:書類審査、2次:面接審査(模擬授業含む) 詳細は津山高専公式Webページ (http://www.tsuyama-ct.ac.jp/honkou/koubo.htm)をご覧ください

■熊本大学大学院自然科学研究科

- 募集人員 准教授 1名
 所属 情報電気電子工学専攻人間環境情報講座
 専門分野 人間環境システム (特に、システム制御、センサシステム、知覚情報処理、ロボティクス、ヒューマンケアエレクトロニクスなど)
 担当科目 電気・電子回路、計測・制御工学などの基礎と応用に関する大学院、学部科目
 応募資格 (1) 学位：博士あるいはPh.D.の学位を有すること、(2) 実績・能力：人間環境システムの分野における教育と研究に対して十分な能力と熱意があり、国際的ならびに社会的な教育研究活動に積極的であること。専門分野において優れた研究実績を有すること。英語でのコミュニケーションと英語による指導や講義ができること。外国人の場合には、学内外における諸業務の遂行が可能な日本語能力を有すること
 着任時期 採用決定後できるだけ早い時期
 提出書類 (1) 履歴書、(2) 研究略歴および業績リスト、(3) 主要論文別刷 (10編まで、コピー可)、(4) 教育に対する抱負 (A4用紙2000字程度)、(5) 研究に対する抱負 (A4用紙2000字程度)、(6) 所見を求め得る方2名の氏名・所属・連絡先・E-mailアドレス
 応募締切 2014年6月27日 (必着)
 送付先 〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2-39-1 熊本大学大学院自然科学研究科情報電気電子工学専攻 専攻長 松島 章
 「人間環境情報講座 (准教授) 応募書類在中」と朱書し簡易書留
 照会先 情報電気電子工学専攻 人間環境情報講座 内村圭一 E-mail: uchimura@cs.kumamoto-u.ac.jp Tel(096)242-3638 (直通)
 その他 詳細はWebページ (<http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/saiyou>) を参照ください

■富山大学大学院理工学研究部 (工学部知能情報工学科担当)

- 募集人員 教授 1名
 専門分野 情報・通信分野 (情報工学にかかわる応用研究分野)
 担当科目 フーリエ解析、統計学、電子回路II、オブジェクト指向など
 応募資格 博士の学位を有し、大学院博士課程の授業が担当できること
 着任時期 2014年10月1日以降のできるだけ早い時期
 提出書類 (1) 履歴書、(2) 研究業績等リスト (①著書、②学術論文、③国際会議発表論文、④解説、総説、⑤その他の論文、⑥特許、⑦外部教育研究資金の獲得状況、⑧受賞歴、⑨学協会および社会における活動状況)、(3) 主要論文別刷 (5編程度)、(4) 現在までの主要研究内容と成果 (A4用紙1枚1000字程度)、(5) 今後の教育、研究に対する抱負 (A4用紙1枚1000字程度)
 応募締切 2014年7月18日 (必着)
 送付先/照会先 〒930-8555 富山県富山市五福3190 富山大学工学部知能情報工学科 学科長 廣林茂樹
 E-mail: hirobays@eng.u-toyama.ac.jp Tel(076)445-6889
 「情報通信分野教員 (教授) 応募書類在中」と朱書し簡易書留 *応募書類は原則としてお返しいたしません
 その他 (1) 書類選考後、面接を行います、(2) 富山大学は男女共同参画を推進しています。女性の積極的な応募を歓迎します
 (3) 詳細は以下のWebページ (<http://www.u-toyama.ac.jp/outline/employ/index.html>) をご覧ください

■富山大学大学院理工学研究部 (工学部知能情報工学科担当)

- 募集人員 准教授または講師 1名
 専門分野 情報・通信分野 (情報工学にかかわる応用研究分野)
 担当科目 フーリエ解析、統計学、電子回路II、オブジェクト指向など
 応募資格 博士の学位を有し、大学院博士課程の授業が担当できること
 着任時期 2014年10月1日以降のできるだけ早い時期
 提出書類 (1) 履歴書、(2) 研究業績等リスト (①著書、②学術論文、③国際会議発表論文、④解説、総説、⑤その他の論文、⑥特許、⑦外部教育研究資金の獲得状況、⑧受賞歴、⑨学協会および社会における活動状況)、(3) 主要論文別刷 (5編程度)、(4) 現在までの主要研究内容と成果 (A4用紙1枚1000字程度)、(5) 今後の教育、研究に対する抱負 (A4用紙1枚1000字程度)
 応募締切 2014年7月18日 (必着)
 送付先/照会先 〒930-8555 富山県富山市五福3190 富山大学工学部知能情報工学科 学科長 廣林茂樹
 E-mail: hirobays@eng.u-toyama.ac.jp Tel(076)445-6889
 「情報通信分野教員 (准教授または講師) 応募書類在中」と朱書し簡易書留 *応募書類は原則としてお返しいたしません
 その他 (1) 書類選考後、面接を行います、(2) 富山大学は男女共同参画を推進しています。女性の積極的な応募を歓迎します
 (3) 詳細は以下のWebページ (<http://www.u-toyama.ac.jp/outline/employ/index.html>) をご覧ください

■長野工業高等専門学校電子情報工学科

- 募集人員 助教または助手 1名
- 専門分野 電子情報工学(情報通信, 電子回路に関する分野)
- 担当科目 実験・実習, データ通信, デジタル電子回路, 卒業研究
- 応募資格 (1) 博士の学位を有する者または採用時から数年以内に博士の学位を取得見込みの方, (2) 教育, 研究に情熱を持ち, 学生指導にも理解と熱意のある方, (3) 女性限定(「雇用の分野における男女の均等な機会および待遇の確保等に関する法律」第8条(女性労働者にかかわる措置に関する特例)の規定により, 女性研究者の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として)
- 着任時期 2015年4月1日
- 提出書類 (1) 履歴書(市販のものに本人自筆), (2) 教育研究業績書(著書, 論文, 特許, 報告等で指定様式または様式任意), (3) 主要著書・論文等の別刷(3編程度, コピー可), (4) 研究業績概要(A4用紙2000字程度, 様式任意), (5) 教育, 研究および学生指導に対する抱負(A4用紙2000字程度, 様式任意), (6) 所属長(または指導教員)の推薦書またはこれに準ずるもの
- 応募締切 2014年7月18日(必着)
- 送付先 〒381-8550 長野県長野市徳間716 長野工業高等専門学校長
「電子情報工学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *原則として, 提出された書類等の返却はいたしません
- 照会先 教育・研究に関すること: 電子情報工学科長(教授) 楡井雅巳 E-mail: m_nirei@nagano-nct.ac.jp Tel(026)295-7084(ダイヤルイン)
Fax(026)295-4356, その他事務的なこと: 総務課人事係長 E-mail: jinjil@nagano-nct.ac.jp Tel(026)295-7004(ダイヤルイン)
- その他 選考方法: 第1次選考(書類選考), 第2次選考(面接) ※面接にかかわる旅費等は, 応募者の負担といたします
応募者の個人情報, 長野工業高等専門学校の教員を採用する目的のために利用するものであり, 第三者に提供または公表することはありません

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ，1/2 ページ または 1/4 ページ	(主催・共催)	
			1 ページ	50,000 円 (税込 54,000 円)
			1/2 ページ	30,000 円 (税込 32,400 円)
			1/4 ページ	20,000 円 (税込 21,600 円)
			(協賛)	
広告として取り扱う				
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	20,000 円 (税込 21,600 円)
			賛助会員（企業）	30,000 円 (税込 32,400 円)
			賛助会員以外の企業	50,000 円 (税込 54,000 円)
			* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円 (税込 4,320 円) で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。	

■申込方法 任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
 (1 ページ) 天地 260mm × 左右 175mm
 (1/2 ページ) 天地 130mm × 左右 175mm
 (1/4 ページ) 天地 65mm × 左右 175mm
 * A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。
 [募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
 * なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限 毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

デジタルプラクティス

電
読

デジタルプラクティス編集委員会

2014年4月、紙読(紙で読む)から電読(電子で読む)へ

これまでデジタルプラクティスは会員皆様に紙冊子でお届けして参りましたが、2014年4月発行号(第18号)より電子版に切り替わりました。すべての論文は、バックナンバーも含め電子図書館より無料でダウンロードできますので、これまでと変わらぬご愛顧をどうぞよろしくお願い致します。この電子化により印刷経費を低く抑えられる一方で、読者や潜在的な著者に対するプレゼンス低下が懸念されます。そこで編集委員一同、論文誌としての価値がより高まるよう、さらなる特集企画の充実や広報等に努めて参りたいと思っております。

最新号,バックナンバーは
電子図書館 (<https://ipsj.ixsq.nii.ac.jp/ej/>) から
無料ダウンロードで電読できます。

* 電子図書館は事前にユーザ登録(無料)が必要です。



デジタルプラクティスの目的は、ICTの現場において、試行錯誤や創意工夫の繰り返しの中から日々生み出されるプラクティスという知を社会全体で共有することです。読者の皆様が、デジタルプラクティス論文の中からご自身の仕事にも活かせる現場の知を見出してくださいれば幸いです。著者の皆様にとってデジタルプラクティスが自己研鑽やキャリアアップの機会につながれば幸いです。今後は、読者、著者の皆様に電子版ならではのサービスを提供して参りたいと思っております。

ご質問等は情報処理学会デジタルプラクティス担当 editdp@ipsj.or.jp までお寄せください。

2014年度 シニア会員制度のご案内

【2014年度よりシニア会員制度を開始します】

本会は、今年度より情報処理分野において継続的な貢献が認められ、学会活動を通して本会の発展に寄与する正会員に対し敬意を表明するとともに、将来にわたって引き続き学会活動の中心となって、学会の発展、ひいては社会への貢献をいただくという趣旨のもと、「情報処理学会シニア会員制度」を新たに設けました。

シニア会員の申請有資格者様におかれましては、本制度の内容をご確認の上、ぜひとも申請をいただき、本会シニア会員として今後もなお一層の積極的な学会活動、ご活躍をいただければ幸いです。多くの方からの申請をお待ちしております。

2014年度シニア会員申請および申請手続き要項

以下の要項をご確認の上、学会 Web サイト内のシニア会員 Web ページより、「シニア会員申請フォーム」に申請書類を添付して事務局までご送信ください。また、事務局シニア会員担当あて電子メール、および郵送での申請も受け付けております。

Web ページ	http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/seniormember/seniormember.html
申請対象者	2014年4月1日現在で正会員として連続5年以上在会の方が対象です。 *年齢不問、学生会員としての在会期間は対象外です。
申請受付締切	2014年6月30日(月)まで
申請書類	シニア会員申請書1通 シニア会員推薦書2通(推薦書は2名分必要です)
申請方法 (①～③いずれかの方法で申請してください)	<p>① Web サイト申請フォームから申請</p> <ol style="list-style-type: none"> 上記 Web ページより「シニア会員申請書」をダウンロード、必要事項を記入してください。 推薦者に該当する2名の方より「シニア会員推薦書」を入手してください。 「申請書」、「推薦書」、「推薦書」の順に計3ページ分をPDFにて1つのファイルにまとめてください。 上記 Web ページ内の「シニア会員申請フォーム」に必要事項をご入力いただき、3.で作成したファイルを添付して申請してください。 <p>② 電子メールで申請</p> <p>soumu@ipsj.or.jp あてのメールに必要事項をすべて入力済みの「申請書」1通、「推薦書」2通を添付してお送りください。</p> <p>③ 郵送にて申請</p> <p>事務局管理部門シニア会員担当へ必要事項をすべて記載した「申請書」1通、「推薦書」2通(いずれもサイズはA4判)をお送りください。</p> <p>①, ②, ③とも事務局にて受付後、受付完了メールを申請者・推薦者にお送りしますのでご確認ください。</p>
推薦者	推薦者は下記1～4のいずれかに該当する方です。2名の方から推薦書をいただいでください(推薦者はシニア会員 Web ページにて確認できます)。 1. 本会名誉会員 2. 本会フェロー 3. 本会現役員 4. 本会過去3年の役員
審査方法	申請書類に基づき、本会総務財務運営委員会で審査を行い、理事会へ諮ります。 【審査基準】本会関連分野の技術者、科学者、教育者、技術管理者で、連続して5年以上本会正会員として在会しており、本会の諸活動の支援および諸事業において、貢献が認められる方。
結果連絡	2014年9月ごろ、申請書に記載のメールアドレスへ審査結果を連絡します(審査状況によっては日程が変更になる可能性があります)。 申請が認定された方は、本会 Web ページにお名前を掲載し、後日「シニア会員認定証」を会誌発送先の住所へお送りします。

申請・照会先：〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
情報処理学会事務局 管理部門 シニア会員担当
TEL：03-3518-8374 e-mail: soumu@ipsj.or.jp



情報処理学会の会員になりませんか!

www.ipsj.or.jp

新規会員
募集中

一般社団法人 情報処理学会は、IT に関する専門家集団として健全な情報化社会の実現に向けて、学術・文化・産業等の多方面に貢献しています。

■活動の概要

- 機関誌(「情報処理」「情報処理学会論文誌」)の発行
- 各種行事の開催(研究発表会、全国大会、FIT(情報科学技術フォーラム)、シンポジウム、連続セミナー他)
- 情報処理教育活動
- 国際交流
- 標準化活動
- 出版活動

■会員になるには

入会金(正会員のみ)と会費をお振り込みの上、入会申込書をお送りください。理事会で承認後会員証(賛助会員除く)をお送りします。情報処理学会の会員は、個人会員と賛助会員から構成されています。

個人会員

正会員: 当学会の中心的会員で、IT 分野に携わっているかまたは興味のある個人
学生会員: 学校に在学中の個人
名誉会員: 当学会の活動において特別な功績のあった個人

賛助会員

当学会の活動をサポートする法人

■ご入会いただくと、こんな良いことがあります。



2013 年

ホット
トピックス

1 最新技術を紹介する会誌「情報処理」が毎月お手元に届きます。

特集: オープンデータ活用/プライバシーを守った IT サービスの提供技術/ユーザスタディのフロンティア/ソフトウェア工学の共通問題/現役プロ棋士に勝ち越したコンピュータ将棋~第2回将棋電王戦速報~/スマートフォンプログラミング/生活をデザインする: 生活機能構成学のアプローチ/ノーマリーオフコンピューティング/ネットワークロボット, その人と街とのかかわり/実世界に広がる装着型センサを用いた行動センシングとその応用/DoS 攻撃/新年度企画: 研究会紹介/モビリティの進化、他

2 実務の現場で IT を実践する皆様に向けた論文誌「デジタルプラクティス」(年4回発行)が電子版でご覧いただけます。

特集: 経営に貢献するコンタクトセンタ(1月刊行)/利用されるクラウドコンピューティング(10月刊行)/ヘルスケアの現場を支える IT(7月刊行)/要求工学で情報システム開発を変える(4月刊行)

3 電子図書館(情報学広場)で「情報処理」の過去の記事を見ることができます。

4 「連続セミナー」に会員価格(7,000円お得)で参加できます。

時代に即しかつ技術の先進性に富んだ内容をテーマに、その分野の第一線で活躍している講師を招いて年数回にわたり開催しています。2013年度は「ビッグデータの深化と真価」をテーマに、6回の開催がありました。

5 ホットピックスに対応する「シンポジウム・セミナー」(5,000円以上お得)や「研究会」に会員価格で参加できます。

インターネット、E ビジネス、セキュリティ、ユビキタス・モバイル・情報家電・組込み、ディベンダブルシステム、低消費電力化、リコンフィギャラブルプロセッサ、グリッド、UML・オブジェクト指向・ASP 指向、エージェント、セマンティックウェブ・XML・データマイニング、マルチメディア、エンタテインメント・バーチャルリアリティ、e-ラーニング、バイオインフォマティクス、バイオメトリクス、量子コンピューティング・DNA コンピューティング、進化的計算・複雑系、ITS、金融工学・経済物理

6 出版図書が会員割引で購入できます。

IT Text シリーズ、英文図書 Advanced Information Technology シリーズ、日本のコンピュータ史等

他にも会員向けサービスがたくさんあります。詳細は学会 Web サイトをご覧ください。

お問い合わせは、
一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 mem@ipsj.or.jp

CONTENTS

Preface

The Japanese and Imagination

Kazuhiko KATO (Univ. of Tsukuba)

Special Features

Multiagent Simulation

528 0. Foreword

Kenji AOKI (NEC Corp.) and Tatsuya ASAI (Fujitsu Labs Ltd.)

530 1. Basic Design of Multiagent Simulation

Fujio TORIUMI (The Univ. of Tokyo) and Hitoshi YAMAMOTO (Rissho Univ.)

539 2. Social and Organizational ICT Architecture Design in the IoE Era - from Social Simulation to Real World OS -

Hiroshi DEGUCHI (Tokyo Institute of Technology)

549 3. Big Data and Agent-based Simulation

Kiyoshi IZUMI (The Univ. of Tokyo)

557 4. Gaming as Multiagent Simulation

Reiko HISHIYAMA (Waseda Univ.)

563 5. Multiagent Negotiation Models, Simulations, and their Applications

Takayuki ITO (Nagoya Institute of Technology)

572 6. Application of Evacuation Simulation to The Real World

Tomohisa YAMASHITA and Itsuki NODA (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST) / Japan Science and Technology Agency (JST))

579 7. Traffic Simulation for Urban Planning - Data Analytics and What-if Simulation for Smarter Cities -

Hideyuki MIZUTA (IBM Research - Tokyo / Japan Science and Technology Agency (JST)), Hldemasa MUTA (IBM Research - Tokyo) and Takashi IMAMICHI (IBM Research - Brazil)

585 8. The Trend of Multiagent Simulation's Practical Use in Japan

Toshikatsu MORI (KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc.)

Series : Pilgrimage to Vintage Computers / Trail Blazers' Recollections of 0's and 1's

592 2013 Nomination of the Information Processing Technology Heritages

Hiroharu ASAHII (Hitachi, Ltd.)

"Peta-gogy" for Future

597 Going to Where! General Education of Information Processing

Lumi TATSUTA (Dokkyo Univ.)

598 How to Create a Pleasant Atmosphere for Computer Training Room

Kazuhiro ABE (Aoyama Gakuin Univ. / Tsuda College)

602 Educational ICT Environment During 35 Years in Kyushu University and Kyushu Institute of Design

Naomi FUJIMURA (Kyushu Univ.)

Senior Column : Messages on Favorite IT

606 Abstraction : Deep Valley between Industry and Academia

Hajime OHIWA (Keio Univ.)

610 Biblio Talk



読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8371



論文誌ジャーナル掲載論文リスト Vol.55 No.5 (May 2014)

【特集：情報システムの新展開】

- 「情報システムの新展開」の編集にあたって 大場みち子
- 設計情報の写像経路に着目したソフトウェア開発プロジェクトの複雑性指標の提案 榮谷昭宏 他
- 一貫性・明瞭性診断による静的 UML モデリング学習支援システムの設計と評価 野沢光太郎 他
- 学術組織間デジタル資料分散共有システム「ARCADE」の開発 松平拓也 他
- 地域ごとの津波避難計画策定を支援する津波避難評価システムの開発 畑山満則 他

【一般論文】

- 擬似的な前後方向の運動視差付き映像がテレプレゼンスに及ぼす影響の評価* 川路崇博 他
- MASG : Misuse case with Assets and Security Goals Takao Okubo 他
- FFS 認証においてチャレンジの分割により検証に必要な乗算回数を低減する手法の検討 豊田健太郎 他

- ファイル構造検査による悪性 MS 文書ファイルの検知 大坪雄平 他
- Usability Measures for Large Scale Adoption of the Standardized Electronic Health Record Databases Aastha Madaan 他
- 無線システムエミュレータの実装と評価 真野 浩 他
- モバイルアドホックネットワークにおけるクラスタを用いた Top-k クエリルーティング手法* 天方大地 他
- ダイバージェンスが定める議席配分方式 † 一森哲男
- 講演音声ドキュメント検索のための擬似適合性フィードバック 西尾友宏 他
- マイクロブログ文書の選択による適合フィードバックを用いた疑似適合フィードバックの検索性能改善 宮西大樹 他
- 情報基礎教育におけるペアワーク時の発言量とパーソナリティの特徴 † 内田君子 他

* : 推薦論文 Recommended Paper

† : テクニカルノート Technical Note



論文誌トランザクション掲載論文リスト (May 2014)

【論文誌 コンピューティングシステム Vol.7 No.2】

- デザスタリカバリに向けた非同期リモートコピー構成資源算出方式 田口雄一 他

- プロセスの耐障害性向上のための多重 OS の開発と評価 吉田健二 他



デジタルプラクティス掲載論文リスト Vol.5 No.2 (Apr. 2014)

【特集：ビッグデータ活用を支える OSS】

【特集号招待論文】

- 「ビッグデータ活用を支える OSS」特集号について 濱野賢一朗 他
- 「社会の頭脳システム」におけるドコモの Hadoop クラスタの活用事例 趙 晩熙 他
- 業務系バッチ処理への Hadoop 導入についての課題と解決— Asakusa Framework の導入によるバッチの高速化— 神林飛志
- OSS を活用した Twitter データ提供システムの構築 関 堅吾 他
- NetCOBOL の Hadoop 連携機能の開発と実践事例 上田晴康 他

- Jubatus の機能を利用した二者択一型不動産賃貸物件推薦サービスの開発 中野 猛 他
- 《インタビュー》(株) リクルートテクノロジーズ 中野 猛氏 インタビュー 「ビッグデータテクノロジーでサービスをドライブする」

【JISA 招待論文】

- 製造業のグローバル展開をクラウドサービスで支援— AToMsQube (アトムズキューブ) — 田中 修

【一般投稿論文】

- NFC — Wi-Fi 連携スマートフォン向けサービス 河野 進 他

モバイル・クラウド時代の IT 新潮流を 読み解く

主催 一般社団法人 情報処理学会
 協賛 一般社団法人情報サービス産業協会 (JISA)
 一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS)
 一般社団法人電子情報通信学会 (IEICE)
 一般社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA)
 会場 化学会館 7F (東京) 大阪大学中之島センター (大阪)

近年の情報技術の進展を俯瞰すると、クラウド・コンピューティングの浸透やモバイル・デバイスの多様化などに伴い、ビッグ・データ活用、プライバシー保護対策、ソフトウェア迅速開発などパラダイムシフトといっても過言ではないほどトレンドが大きく変化しています。

本連続セミナーでは、データ解析、ネットワーク、セキュリティ、ソフトウェア工学など各技術分野での大きな潮流変化をとらえつつ、社会・ビジネスへのインパクトまで含めて、今後の動向を読み解きます。

第1回 2014年6月9日(月)
予測と意思決定のためのアナリティクス技術
 コーディネータ 鹿島久嗣(京都大学)

第2回 2014年7月15日(火)
ウェアラブルが切り開く IT 新潮流
 コーディネータ 寺田 努(神戸大学)

第3回 2014年9月25日(木)
DevOps 等のソフトウェア開発新潮流
 コーディネータ 青山 幹雄(南山大学)

第4回 2014年10月17日(金)
モバイル・クラウド時代を加速する IOT(Internet of Things)
 コーディネータ 松井 進(大阪工業大学)

第5回 2014年11月11日(火)
モバイル・クラウド時代のデータプライバシー
 コーディネータ 佐久間 淳(筑波大学)

第6回 2014年12月
アナリティクス適用事例
 コーディネータ 丸山 宏(統計数理研究所)

※価格はすべて予約値

東京会場 参加費(消費税込)*冊子資料含			
参加区分	6回分	3回分	1回分
正会員	86,400円	64,800円	28,900円
一般非会員	108,000円	81,000円	36,100円
学 生	12,960円	9,720円	4,400円

大阪会場 参加費(消費税込)*冊子資料含			
参加区分	6回分	3回分	1回分
正会員	60,500円	45,400円	20,300円
一般非会員	75,600円	56,700円	25,300円
学 生	9,100円	6,900円	3,100円

各回のタイトルは予定であり変更する可能性があります。

「情報処理」 カタログ同封サービスの ご案内

？
 カタログ同封
 サービスとは？

毎月会員に配布している学会誌に貴社/貴校のカタログや広告を同封し、直接読者にお届けするサービスです。
 通常のDMと異なり学会誌に同封しますので、読者の開封率は格段に上がります。
 また、カタログ送付にかかるコストを最小に抑えることができ、なおかつ情報処理を専門とする読者にターゲットを絞った効果的な案内を出すことが可能となります。

お申し込み方法と掲載までの手続き

- 封入希望月の前月15日までに下記事項を記載の上、問合せ先までお申し込みください。
 - ◆会社名、担当者、連絡先（住所、Tel、Fax、E-mail） ◆封入希望号
 - ◆サイズ ◆カタログの簡単な内容説明
 - ◆割引対象にあたる場合はその旨記載ください。
- 封入希望月の遅くとも前月末日までに下記事項について手配をお願いします。
 - ◆カタログ見本を問合せ先までお送りください（PDF、Fax可）。
 - ◆納品業者をお知らせください。
- 納品日は封入希望月の5日（土曜、日曜、祝日の場合は翌営業日）です。日付指定にて必要枚数（20,000枚）を印刷し指定の納品先へお送りください。
 - ※納品先は、お申し込み後にご連絡いたします。
 - ※納品が遅れますと同封ができない場合がございます。その場合はキャンセルとさせていただきます。
- カタログを同封した学会誌を発行日にお送りしますので、ご確認ください。
- 後日請求書をお送りしますので振込手続きをお願いします。

1通あたり
 約17.5円!

基本価格 350,000円
 (税込 378,000円)

対象：全会員 20,000通 配布
 (正会員/名誉会員/学生会員/賛助会員)

大学や
 共催事業は
 さらに割引も!

大学/研究所/賛助会員または情報処理学会主催・共催事業は、下記のとおり割引料金が適用されます。

大学/研究所/賛助会員
 (基本価格の40% Off!) **210,000円**
 (税込 226,800円)

情報処理学会主催・共催事業*
 (基本価格の80% Off!) **70,000円**
 (税込 75,600円)

*情報処理学会研究会主催、共催を含む

サイズ：A4判またはA3判二つ折り（その他についてはご相談ください）
 用紙：色上質厚口（四六判80kg）またはコート紙（四六判90kg）相当

☎ 問合せ先

【広告代理店】アドコム・メディア(株) E-mail: sales@adcom-media.co.jp
 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 Tel.(03)3367-0571 Fax.(03)3368-1519

一般社団法人情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp
 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
 Tel.(03)3518-8371 Fax.(03)3518-8375

ご意見をお寄せください！

【6月10日頃までにお出してください】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種： (a) 企業（サービス業） (b) 企業（製造業） (c) 研究機関 (d) 教育機関（大学・高専など）
(e) 学生 (f) その他 4- []
- (5) 職種： (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（大学・大学院） (h) 教職員（小・中・高校・高専など）
(i) 学生 (j) その他 5- []
- (6) 年齢： (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6- []
- (7) 性別： (a) 男性 (b) 女性 7- []
- (8) あなたはモニタですか？： (a) はい (b) いいえ 8- []
- (9) あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可（氏名のみ掲載） (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9- []
- (10) 今月号（2014年6月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]
- 巻頭コラム：日本人とイメージネーション 10-1- []
- 特集：マルチエージェントシミュレーション
1. マルチエージェントシミュレーションの基本設計 10-2- []
 2. 社会シミュレーションと組織・社会の情報処理のアーキテクチャ・デザイン 10-3- []
 3. ビッグデータとエージェントシミュレーション 10-4- []
 4. マルチエージェントシミュレーションにおけるゲーミングの利用 10-5- []
 5. マルチエージェントの自動交渉モデルとその応用 10-6- []
 6. 避難シミュレーションの実社会への応用 10-7- []
 7. 都市計画のための交通シミュレーション 10-8- []
 8. 日本におけるマルチエージェントシミュレーション活用の動向 10-9- []
- 古機巡礼 / 二進伝心：2013年度情報処理技術遺産および分散コンピュータ博物館認定式 10-10- []
- べた語義：一般情報教育はどこにゆくのか 10-11- []
- べた語義：幸せなパソコン教室のために 10-12- []
- べた語義：九州大学・九州芸術工科大学における ICT 環境：35年間の歴史 10-13- []
- IT好き放題：産学間に横たわる深い谷：抽象化 10-14- []
- ピブリオ・トーク：Operating Systems Design and Implementation (3rd Edition) 10-15- []
- (11) 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- 〔11-1〕良かった記事 11-1- []
- 〔11-2〕この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 11-2- []
- 〔11-3〕選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） 11-3- []
- a) 技術・研究動向がよく分かった
 - b) 知的興味をかきたてられた
 - c) 新たな知識を得ることができた
 - d) 内容が平易で理解しやすかった
 - e) その他（具体的に下記にご記入ください）
- (12) 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- 〔12-1〕良くなかった記事 12-1- []
- 〔12-2〕この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 12-2- []
- 〔12-3〕選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） 12-3- []
- a) 記事の内容に誤りがあった
 - b) ありきたりな内容だった
 - c) 記事が難しすぎた
 - d) 何を言いたいのか分からなかった
 - e) 宣伝の意図が強すぎる
 - f) テーマに興味を持てなかった
 - g) その他（下記に具体的に下記にご記入ください）

[13] 今月の特集に対する貴方の立場を教えてください。

[13-1] マルチエージェントシミュレーション：a) 専門家 b) 非専門家 13-1- []

[14] 設問 [10] で読んでいないと答えた記事について、その理由を教えてください。

[15] 会誌に対するご意見やご感想、著者への質問、巻頭コラムに登場してほしい人物、今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。
(スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください)

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、論文誌（デジタルプラクティス）、著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル／トランザクション／JIP）の編集・査読
調査研究／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、国際会議、IFIP 委員会
■ 事業部門			
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続 세미나、プログラミング・シンポジウム
■ 管理部門			
総 務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSJ メールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp	標準化フォーラム 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/	

本特集は、もともとマルチエージェントシミュレーション (MAS) の単発記事として企画していたものが、中島編集長 (当時) の鶴の一声により、めでたく特集企画として格上げされた経緯を持つ。特集だと、MAS の基盤技術の研究・開発から、MAS の応用・利活用まで、最先端で活躍されている多くの研究者や技術者の方々に執筆いただけるし、その結果、多様な観点から MAS を俯瞰できることにもつながり、担当エディタとしては幸甚の至りであった。我々エディタと面識がないにもかかわらず、執筆を快諾いただいた本特集の執筆者の方々に改めてお礼申し上げます。

近年のビッグデータ現象に触れるまでもなく、機械学習やデータマイニングのような帰納的なデータ分析のアプ

ローチは、情報処理の分野では誰もが利用していると言っても過言ではない。また、演繹的なアプローチのうち、数値予測系のシミュレーションも実績を重ねている。一方、人間や社会の複雑な現象をモデル化する MAS のような演繹的なアプローチは、一般に広く浸透しているとは言いがたい状況である。そのような中、本特集にも出てきた避難誘導や、新築のオフィスビルの空間デザイン、道路の形状変更に伴う渋滞予測など、MAS が多くの現場で使われ始めている。そして、人間や社会や組織をボトムアップに解析し、デザインする手法として MAS が有効に機能している。以上のことが読者の方々に伝わったなら、本特集の担当エディタとしてこれ以上の喜びはない。

(浅井達哉 / 本特集エディタ)



次号 (7 月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」増加する社会インフラを標的としたサイバー攻撃

社会インフラへのサイバー攻撃に対する課題と取り組み / 産業制御システムへのサイバー攻撃手法の特徴と対策 / 社会インフラの安心・安全を確保するためのセキュリティ技術の研究開発 / 制御システムのセキュリティを対象とした評価・検証技術と標準化動向 / サイバー攻撃に備えた実践的演習 / 自動車や医療機器を対象とした新たなサイバー攻撃の脅威

「特集」量子コンピュータ

量子計算の基礎 / 量子回路と古典回路の相違：加算回路を例として / 物理に即した量子コンピュータの誤り訂正技術 (仮) / 大規模量子情報処理システム / 量子プログラミング言語 / 量子アニーリングと D-Wave

解 説：情報学を定義する—情報学分野の参照基準 萩谷昌己

教育コーナー：べた語義

連 載：古機巡礼 / 二進伝心 / ビブリオ・トーク

コラム：巻頭コラム / シニアコラム：IT 好き放題

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	330,000円 (税込356,400円)	—	—
表3	275,000円 (税込297,000円)	—	—
表4	385,000円 (税込415,800円)	—	—
表2対向	300,000円 (税込324,000円)	—	—
表3対向	265,000円 (税込286,200円)	190,000円 (税込205,200円)	155,000円 (税込167,400円)
前付1頁	250,000円 (税込270,000円)	165,000円 (税込178,200円)	135,000円 (税込145,800円)
前付1/2頁	—	—	80,000円 (税込86,400円)
前付最終	—	—	148,000円 (税込159,840円)
目次前	—	—	148,000円 (税込159,840円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	275,000円 (税込297,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	350,000円 (税込378,000円)		
同封 (A判 1枚)	350,000円 (税込378,000円)		

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 20,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」55巻6号 掲載広告（五十音順）

- インタフェース 表2対向 日本マイクロソフト 表2
 構造計画研究所 目次前 培風館 前付最終上
 日本電気 表4 フォーラムエイト 表3, 同封

すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 _____) _____

TEL (_____) _____ - _____ FAX (_____) _____

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ピー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

Google

グーグル (株)

GREE

グリー (株)

NTT docomo

(株) NTT ドコモ

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)

NTT data

NTT データ (株)



NTTコムウェア

NTT コムウェア (株)

OKI

沖電気工業 (株)

楽R天

楽天 (株)

JISA

情報サービス産業協会

uejima

(株) うえじま企画

SANBI

三美印刷 (株)

SONY

ソニー (株)

Panasonic

パナソニック (株)

Plat'Home

ぶらっとホーム (株)